

令和2年度第2回古賀市文化財保護審議会 会議録

開催日時 令和3年3月17日(水) 14時から14時30分まで

開催場所 リーパスプラザこが 歴史資料館 中会議室

出席委員 森弘子会長 桑田和明副会長 今橋省三委員 本田光子委員 伊崎俊秋委員

出席者 長谷川清孝教育長 青谷昇教育部長

事務局：柴田博樹文化課長 杉村幸一歴史資料館長 井英明文化振興・文化財係長
岩橋由季主任主事 大江道子主事

傍聴者 なし

1. 開会の言葉

2. 教育長あいさつ

3. 報告事項

森会長 新型コロナウイルス感染拡大の影響で延期になっていたが、なんとか今年度中に開催していただき、いよいよ本日は議事として五所八幡宮の大般若波羅蜜多経について審議したいと思うが、その前に報告事項として「令和2年度船原古墳調査・活用事業について」事務局から説明願う。

岩橋 (会議資料1～2頁に沿って「3. 報告事項(1) 令和2年度船原古墳調査・活用事業について」説明。)

森会長 船原古墳については、玉虫の翅で装飾された馬具など大変注目が集まっており、市の方でも積極的に取り組んでおられる様子で。今日はこういった可愛い缶バッジも頂戴した。船原古墳の活用について、今の説明に対して質問やアイデア等あれば発言願う。

伊崎委員 もし可能であれば、マグネットも作っていただけたらより良いかと。こちらを見てふと思ったので参考として。

森会長 マグネットは色々使い勝手がある。他にも皆さま方でお気づきの点があればまた事務局の方に言っていただけたらと思う。それでは、いよいよ議事に入りたいと思う。議事の「古賀市文化財指定文化財に関する調査審議 五所八幡宮の大般若波羅蜜多経」について説明願う。

4. 議事

井係長 (会議資料3～17頁に沿って「4. 議事(1) 古賀市文化財指定文化財に関する調査審議 五所八幡宮の大般若波羅蜜多経」について説明)。

森会長 桑田副会長、伊崎委員のご意見も取り入れられて修正したものを今日ご説明いただいた。この件について他にご意見等あれば発言願う。

伊崎委員 指定については、何ら異存はないが、先ほど井係長の方から大般若波羅蜜多経があった嬉野市の慈眼庵、その関係で嬉野市さんの方にも情報提供して、それを待っているということだったが、なぜこの大般若経が古賀から嬉野まで行ったのか、そういう歴史的な背景というのも非常に興味があると思うので、今後もその辺の調査研究を進めていただけたらと思う。

森会長 まだまだ不明な点も多いかと思うので継続調査はぜひ必要であろうかと思う。他には、

今橋委員 私も指定に何ら異存はないが、書きぶりの中で気になったのが、6頁の6行目に「また、兵火

を避けるためか経典が遠地へ移動させられ」とあるが、11 頁にもあるように、嬉野に行ったのは必ずしも兵火を避けるためだけだとは言えない部分が若干あるのではないかと思う。いろんな事情がまだ分からないので、こういった書きぶりだと、「兵火を避けるためか」とあるが、そのためだけになってしまいそうな気がする。なぜ嬉野に行ったのかはまだ不明な点があるので少し工夫いただけたらと思う。

井係長 例えば、事情は分からないが、とか。

今橋委員 はい。このままだと特定してしまうような感じがするので。

井係長 ありがとうございます。

森会長 他にご意見等は、桑田副会長は如何か。

桑田副会長 前の時にお話しをして変えていただいたりしているので。

森会長 本田委員は如何か。

本田委員 異存ない。

森会長 それでは、まだまだ継続調査は必要かと思うが、これは前年度からの継続審議になっており、今年度中にはぜひというところもあるので。

皆さま方のお手元に答申書に付ける別紙がある。これをご一読いただいてこれについてご意見があれば発言願う。

委員一同 (黙読)

森会長 皆さんお目通しは終わられたか。これでよろしいか、ご意見等は。

それでは、ご意見がないようなので、原案通りに古賀市指定文化財指定に関する調査審議「五所八幡宮の大般若波羅蜜多經」を委員会において慎重審議していただいたところ、古賀市指定の有形文化財として指定することをご承認いただいたこととする。答申書については細部を詰めたうえで教育委員会へ提出したいと思う。そこはご一任いただければと思う。それでは進行を事務局へお返すする。

5. その他

井係長 ありがとうございます。先ほど森会長からお願いしたとおり、今橋委員からご指摘いただいた指定する理由の「兵火を避けるためか」の文言について改めさせていただいてまたご相談したいと思う。それでは、このまま答申の方に進めさせていただきたいと思う。では、事務局からの連絡事項を申し上げる。来年度第1回の会議日程については現在6月もしくは7月頃の開催を考えているが、日程調整については年度改まって、またご相談申し上げたいと思う。どうぞよろしく願いいたします。

では、とても早く終わったが、閉会の言葉に入りたいと思う。

6. 閉会の言葉